



与論町立与論小学校

与論小だより

<キャッチフレーズ>

Smail No.1

令和3年5月20日

校訓：至 誠 【 真心をもって人に尽くす 真心をもって事にあたる 】

さわやかな朝の風景

校長 岩元 輝美



初夏の爽やかな風が吹いています。ゴールデンウィークも無事故で終わり、学校にもまた歓声が戻ってきました。

私は、4月に与論小学校に赴任してから、小学生をはじめ皆さんのあいさつの良さに感心しています。朝、校門に立っていると、小学生はみんな立ち止まり「おはようございます」と言い、丁寧に頭を下げてください。横断歩道で車を止めてくださった方には「ありがとうございました。」と元気よくお礼を言います。こども園の年長さんも、恥ずかしそうにかわいい声であいさつした後、門札をして小学校の校門から入っていきます。自転車や単車に乗った中学生・高校生もしっかりあいさつしてくれます。大人にしても然りです。歩行者はもちろん、車や単車を減速してあいさつや会釈したり、手を挙げたりしてくださる方もいらっしゃいます。あいさつの仕方は様々ですが、目と目が合った瞬間に心がつながった気がして、それは私の一日のエネルギーとなっています。



10日(月)の全校朝会で、「あいさつは魔法の言葉」という話をしました。あいさつは、①自分が元気になれる。②まわりの人も元気にする。③みんながやさしい気持ちになれる。④みんなが仲良くなれる。—そんな魔法の言葉です。だから、あいさつの「あ」…あかるく、「い」…いつも、「さ」…さきに、「つ」…つづけることだと話をしました。また、不審者対応避難訓練では。あいさつはコミュニケーションの第一歩としての役割のほか、犯罪抑止力としても大きな力を発揮することも話をしました。「自分から声をかけること」「相手の顔を見て、しっかりとあいさつすること」により相手をひるませるそうです。統計的に見ても、あいさつの行き交う街は犯罪率も低いそうです。まさに、与論のことだなと思います。



さりげない「おはよう」の一言ですが、エネルギーを生む言葉として、今後もさわやかなあいさつをしていきたいと思っています。また、子供たちや職員と元気なあいさつが響き渡る学校を目指していきたいと思っています。

<特別支援教育支援員紹介>

よろしく
じーりぞ
よろしく

山あゆみ支援員が産前休暇となり、5月から堀切祥子支援員が赴任しました。よろしくお祈りします。

4月に与論に引っ越してきて、素敵な海に金色のサナギ、豊かな自然に感動しています。子供たちは、礼儀正しく元気いっぱい、私もパワーをたくさんもらっています。音楽が大好きなので、エイサーや与論の歌も知りたいなと思っています。よろしくお祈りします。

